



いちょう

令和4年9月26日
熊本市立健軍東小学校
校長 吉田 高広

すっかり秋めいてまいりました…

校内のあちらこちらに彼岸花が色鮮やかに咲き誇っています。

9月18日・19日に熊本県を襲った台風14号も、熊本市においては規模の割にはさほどの被害もなくほとと胸をなでおろしているところです。その台風が去った後には、朝夕がかなり涼しくなり、季節が一気に進んだ感じ。ふと気づくと日の出は朝6時を過ぎ、日の入りもやがて夕方6時を割り、5時台に突入しようかという季節となっています。

さて、学校では運動会まであと1ヶ月を切り、本格的な練習も始まろうかというところです。応援団も結成され、9月27日から応援団練習が始まります。子どもたちもやる気に満ちています。これから運動会まで、盛り上がっていくことを期待しています。

「主体性」を育むために

前号の「自分で決める”子どもに育つために」に引き続いて、今号でも主体性に関するテーマを取り上げさせていただきます。

主体性とは、「自分はこうありたい」「自分はこうしたい」といった意思や判断のもと、自ら考え、自ら判断し、自ら行動しようとするをいいます。

そうであると考えたときに、主体性をもった子どもにするには、まわりの大人（保護者や教職員等）はどのようなことに心がけるとよいでしょう。前号で3つの力（やってみようとする力・やってみようとする仲間を応援する力・まわりとつながる力）についてお伝えしました。これに大いにかかわりのあることですが、まわりの大人としては「仕事を任せる」ことが大切だと考えます。学年や実態にもより、それをしっかり見極めることがとても重要になってきますが、例えば高学年であれば料理を任せる、というのもありではないでしょうか。これも実態を見極めながら、危険なことについてはしっかり配慮しつつも、ある程度のことを任せることで、主体性が育つ大きなきっかけになっていくものと思われ。但し気をつけたいのが「丸投げにならないこと」です。「見守り続ける」意識を忘れずに、徐々に責任あることにチャレンジしていくことができるように仕組んでいきたいものです。

学校で言えば、委員会の委員長や、運動会の応援団など、みんなをリードしていく責任ある仕事をやってみる、などのことです。どこまでを任せるのか、どんな支援を教職員がしていくのか、といった“匙加減”は難しいところではありますが、責任ある仕事を体験させることは、主体性を育む上で不可欠です。いろんな場面で子どもたちから相談があった際には背中を押してあげてください。

行事予定 9/26～10/2

- 26日（月）心のサポート相談員来校 27日（火）就学旅行保護者説明会（6校時）
- 28日（水）みどりの時間 心のサポート相談員来校 29日（木）拠点校指導員来校
- 30日（金）通知表渡し 不登校いじめ防止校内委員会 ALT 来校
- 3日（月）委員会活動（6校時） 4日（火）校内研修（木の実1研究授業）
- 6日（木）きずな夕会 拠点校指導員来校